

令和6年度企画展

赤穂の

山 ま す

〈中世・祈りの歴史〉

赤穂市立有年考古館

展示会期

2024年4月24日

～7月1日

令和6年度企画展

赤穂の山寺

く中世・祈りの歴史く

「山寺」(山岳寺院・山林寺院)とは、人の住む集落から離れた丘陵や山間部といった場所にある仏教寺院のことです。世俗から離れ、静寂な環境で修行に専念するために、平安時代から江戸時代を中心に全国各地で盛んに建立されました。

赤穂市内でも、中世(鎌倉時代〜室町時代)を中心に各地区で山寺が建立され、人々の信仰の場となっていました。こうした山寺の中には、現在でも寺院として存在するもの、集落へ移転し現在の寺院へつながるものも多く、赤穂の山寺は中世以来、人々の心のよりどころとなっています。

今回の展示では、赤穂各地の山間部に残る山寺に着目し、発掘調査や踏査などの調査成果から赤穂の山寺の歴史とその特徴を紹介いたします。



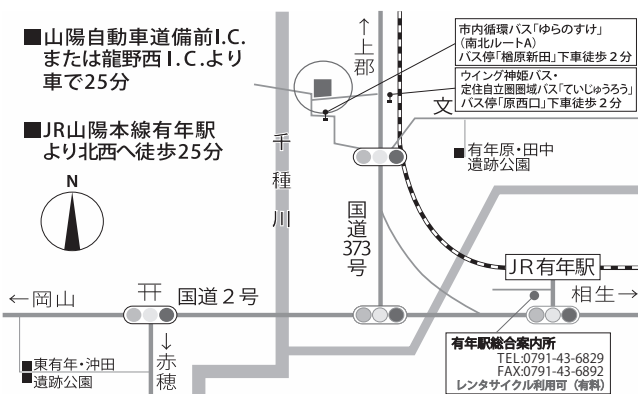
多宝塔跡の発掘調査(黒澤山光明寺奥の院)



水甕(清水山浄泉寺跡)



茶臼(清水山浄泉寺跡)



うね 赤穂市立有年考古館



〒678-1181 兵庫県赤穂市有年榎原1164番地1

TEL・FAX 0791-49-3488

よく みよ-ばば **入館無料**

■休館日■ 火曜日 ※火曜日が祝日と重なる場合は次の平日
年末年始(12月28日~1月4日)

■開館時間■ 午前10時~午後4時(入館は午後3時30分まで)

■Webサイト■ 「赤穂市立有年考古館」で検索!